



No. 108 2021.4.30

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課



コミスク TwitterQR

オンラインでの学級懇談会にチャレンジ

緊急事態宣言が発令され、年度初めの授業参観、家庭訪問、そして学級懇談会等が中止又は延期になる中、保護者の皆さんと本年度の学校経営や学級経営を説明する機会が持ちにくい状況になってきています。そんな中で、朝霧小学校はオンラインでの学級懇談会の開催にチャレンジするという情報と、4月26日に学級懇談会に向けてタブレット研修を実施するという情報が入ってきたので、その様子を取材させていただきました。情報担当の



先生のタブレット画面を大型テレビで共有しながら、先生方は手元のタブレットを操作し、“会議室の設定”、また“参加者として会議室入室”とどんどんこなされていました。こうした操作の研修とともに、タブレットを活用する中で何が変わるのか、何を変えていくのかといった今後の学びのあり方も考えていくことが必要です。それだけに朝霧小の研究テーマを聞いたときは、ワクワクしました。

また、明石小や松が丘小からも年度末に朝霧小が実施したZoomの接続テストのような形で、教室と家庭をつないで簡単な授業風景や、簡単な担任の自己紹介にチャレンジするという情報が入ってきました。松が丘小からは実施に向けての研修の様子も届きました。松が丘小の研修では全体でZoomを体験した後、各教室に分かれて先生役、保護者役になりながら、接続の研修を実施したとのこと。全員で試すのは初めてでしたが、意外と簡単につながった楽しさもあり、盛り上がったようです。楽しく盛り上がるというのも活用の原動力になるのだと思います。こうした実践の中で学校同士がつながってノウハウを共有し、蓄積していく仕組みをつくっていかないといけないんだろうなと考えています。



タブレットが生きた形で活用されるためには、教師も子どもも、使う機会を増やして使用する中で、周りとの情報交換しながら修得していくことが必要だと思っています。まさしく子どもたちも、教師も「主体的・対話的で深い学び」をタブレットをとおして実践していくのだと思います。今、タブレットを活用した学びの方向性として、子どもたちに自律し自立した学びを身に付けていく道具としての活用が求められているのだと思います。そのためには、タブレットが持ち帰りやすくなることや、宿題の中身など自律し自立した学びを身に付けていく仕組み等を検討することが必要だと考えます。視野を広げ柔軟な発想のために、学校を超え、職員室で学年や近くの先生と会話をする感じで、オンラインでつながりながら気軽に情報交換ができる“オンライン職員室”みたいなものがあれば機能するのかなと思ったりします。そんな“オンライン職員室”がつかれないかと思っています。もしできたら報告させていただきます。また、皆様からの情報もお持ちしています。

タブレット活用研修の参考に

ICTの活用の分野では豊福晋平先生（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授）のお名前をよく耳にします。豊福先生は昨年姫路で開催された“播磨から仕掛ける「未来の教室」”の第2部“ICT化で子どものチャレンジの可能性はどう広がるのか”で姫路の先生方とトークセッションを持たれています。可能であればYoutubeで流れていますので豊福先生の話（10分程度）だけでも聞いていただくと参考になると思っています。姫路の先生方とのトークセッションは60分程度ですが、一歩先を歩んでいる姫路の取組も参考になるのではと思います。



YouTube 【検索:播磨から仕掛ける「未来の教室」】

https://www.youtube.com/watch?v=bTDZz_aIuEU&t=3887s

豊福先生プレゼン 0:56~1:05

姫路の先生方のプレゼン&対話 1:05~2:00

豊福先生については他にも YouTube でも動画がありますので検索してみてください。

そんな豊福先生について検索していると Facebook から世田谷区の面白い取組を見つけました。世田谷区として保護者の皆さんへのタブレット端末活用のオンラインセミナーの案内です。タブレット端末でどのように学びが変わるのかについて保護者への説明というよりも、保護者対象の学習会といえるものではないでしょうか。タブレットが導入され何がどう変わるのかは保護者の皆さんも関心があるところです。教育の質的転換・改善がすすむ中

で保護者の理解は欠かせないものになってくるだけに、保護者の方だけでなく、地域の方にもオープンにした形で説明・学習会等理解を深める場をつくっていく必要があるんだろうなと感じました。コミュニティ・スクールと関係なさそうですが、そうした対話がコミュニティ・スクールの仕組みです。またホームページでは“「探求的な学び」を支えるタブレット活用の先生編”等様々な資料を見ることができます。自校にあった活用法を考えるにあたって、こうした情報の中にはいろいろとヒントがあるのではと思っています。この原稿を書きながら、これもネットを使っただけの調べ学習なんだろうなと感じます。まだまだ出会っていない情報があるんだろうなと思います。子どもたちがこれからどんな学びを広げていくのか楽しみです。



【検索:世田谷区 探究的な学びを推進する1人1台の情報端末】

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kodomo/005/d00188984.html>